

2022年度地理学教室関連記事

<地理学科>

* 2022年度在籍学生数 (11月現在)

1年 150名

地域文化研究専攻：77名

地域環境研究専攻：73名

2年 142名

地域文化研究専攻：74名

地域環境研究専攻：68名

3年 125名

地域文化研究専攻：69名

地域環境研究専攻：56名

4年 146名

地域文化研究専攻：75名

地域環境研究専攻：71名

合計 563名

地域文化研究専攻：295名

地域環境研究専攻：268名

* 地理学科スタッフ

学科主任 小野映介

専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映介・鈴木重雄・鈴木秀和・須山 聡・瀬戸寿一・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・西山弘泰・平井幸弘

兼任教員2名 清水善和・山縣 毅 (総合教育研究部自然科学部門)

非常勤講師22名 生田清人・石井久生・市川清士・伊藤修一・伊藤慎悟・伊藤道治・今井理雄・王尾和寿・川合泰代・川元豊和・鈴木毅彦・高木 亨・鄭 美愛・中村洋介・平井史生・福井一喜・柳田 誠・山川信之・山口太郎・山本 充・湯田ミノリ・吉田健洋

* 在外研究 (国内長期)

須山 聡：2022年4月1日～2023年3月31日

研究機関：奄美市立奄美博物館

研究テーマ：奄美群島における景観地理学的研究

* 交換留学生 (学部, 受け入れ)

Lee, Hyeon Joo (韓国・東国大学)：2022年4月1日～2022年9月15日

* 訃報

中村和郎 名誉教授 (1984-2004年度 在職) は2022年6月10日に逝去された。謹んで哀悼の意を表します。

* 地理学科公開講演会

第1回 内山裕弥 (国土交通省都市局都市政策課)：3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」, 12月16日(金) 10:40～12:10, 8号館255

* 地理学談話会

第1回 瀬戸寿一 (駒澤大学地理学科准教授)：デジタル社会における参加型GIS研究, 6月23日(木) 17:30～19:00, 3号館205

第2回 西山弘泰 (駒澤大学地理学科准教授)：人口減少社会における都市のスポンジ化と都市開発, 6月30日(木) 17:00～18:30, 3号館205

第3回 中村洋介 (公文国際学園中等部・高等部, 駒澤大学応用地理研究所専門研究員)：地理教育における環境問題へのシステムアプローチ, 7月29日(金) 15:00～16:30, 3号館205

* 地域調査入門・地域文化調査法・地域環境調査法・地域文化演習・地域環境演習

地域調査入門 (2単位)

小野映介 地域：沖縄県島尻郡久米島町, 6月

13日～15日(2泊3日), 参加学生34名
テーマ:久米島の人と自然
西山弘泰 地域:栃木県宇都宮市, 11月12日
～13日(1泊2日)+1月5日～6日(1泊2
日), 参加学生16名
テーマ:地域資源によるまちづくり
田中 靖 地域:東京東部低地,東京山手台
地,東京湾岸(浦安～幕張),川越,秩父,
いずれも日帰り,参加学生10名
テーマ:身近な自然とGIS
平井幸弘 地域:鹿児島県鹿児島市・桜島, 11
月10日～12日(2泊3日), 参加学生17名
テーマ:ジオパークにおける自然地理学の視点
地域文化調査法(4単位)
小田匡保 地域:大分県臼杵市, 10月5日～8
日(3泊4日), 参加学生5名
テーマ:臼杵市の人文地理
高橋健太郎 地域:長野県栄村, 6月20日～24
日(4泊5日), 参加学生9名
テーマ:農山村の暮らしと産業
西山弘泰 地域:青森県青森市, 11月25日～
28日(3泊4日), 参加学生26名
テーマ:コンパクトシティの実態と課題
地域環境調査法(4単位)
江口 卓 地域:鹿児島県屋久島町, 11月7日
～10日(3泊4日), 参加学生10名
テーマ:屋久島の自然と環境
鈴木重雄 地域:島根県大田市, 10月4日～7
日(3泊4日), 参加学生11名
テーマ:島根県大田市の自然環境と人の暮
らし
鈴木秀和 地域:群馬県長野原町・嬬恋村, 7
月30日～8月2日(3泊4日), 参加学生8名
テーマ:浅間山北麓地域の自然環境・防災・
地域振興
田中 靖 地域:鹿児島県喜界島, 10月14日
～17日(3泊4日), 参加学生14名
テーマ:喜界島の自然地理
平井幸弘 地域:京都府宮津市・阿蘇海および
天橋立, 9月30日～10月3日(3泊4日), 参

加学生6名
テーマ:湖沼をめぐる環境問題とワイズユー
ス

地域文化演習(4単位)

瀬戸寿一 地域:福島県会津若松市, 10月19
日～22日(3泊4日), 参加学生20人
テーマ:情報化とまちづくり
土谷敏治 地域:群馬県前橋市・高崎市・安中
市と周辺地域, 10月12日～15日(3泊4
日), 参加学生7名
テーマ:地方都市における公共交通の課題

地域環境演習(4単位)

小野映介 地域:東京都八丈島八丈町, 7月4
日～5日(1泊2日), 参加学生10名
テーマ:八丈島の人と自然

*「駒澤地理」第58号(2022年3月10日発行)

須山 聡:2015年の人口データに基づいた日
本の離島の地域類型. 1-19.

鈴木重雄:自然環境保全基礎調査植生調査デー
タを用いた日本列島のタケを含む植生の特徴
と分布の検討. 21-30.

鈴木秀和:鬼押出し園における風穴小屋の観光
資源としての評価—アンケート調査を用いた
検討—. 31-50.

角田清美:関東山地南東部の気温分布. 51-61.

鈴木毅彦・西澤文勝:武蔵野台地南東部の駒澤
大学構内で検出された荏原台を覆うテフラー
Hk-KIPsとOn-Pm1の認定—. 63-74.

湯田ミノリ:ミャンマー難民のアメリカ合衆国
への第三国定住—サンディエゴのカレン難民
を例に—. 75-94.

書評

松倉公憲著『地形学』(田中 靖). 95-96.

矢野桂司著『GIS 地理情報システム』(瀬戸寿
一). 97-100.

2021年度地理学教室修士論文要旨. 101-102.

2021年度地理学教室修士論文・卒業論文論題
一覧. 103-106.

2021年度地理学教室関連記事. 107-109.

<応用地理研究所>

* 応用地理研究所スタッフ

所長 江口 卓

所員 21名 (所長を含む)

* 専門研究員の受け入れ

伊藤修一・伊藤慎悟・今井理雄・大槻 涼・中村洋介・長谷川宏一 (6名) : 2022年4月1日
~2023年3月31日

* 「地域学研究」第35号 (2022年3月28日発行)

論説

山口太郎: 民間ガイドブックにみる横浜市の観光空間. 1-26.

資料

高橋健太郎: 駒澤大学における外邦図関連の活動の経緯と特徴. 27-39.

榎本広大・小田匡保: 米海軍横須賀基地周辺の英語景観とアメリカ人の行動範囲. 41-51.

<大学院地理学専攻>

* 2022年度在籍大学院生

修士課程

1年: 印南浩幸・小野口 郭・松本颯人

2年: 高村 楓

* 大学院地理学専攻スタッフ

専攻主任 高橋健太郎

専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映介・鈴木重雄・鈴木秀和・須山 聡・瀬戸寿一・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・西山弘泰・平井幸弘

非常勤講師2名 王尾和寿・柳田 誠

* 発表会

卒業論文発表会

2022年5月12日(木) 16:30-18:00,

駒澤大学駒沢キャンパス3-205, 発表者3名

修士論文中間発表会

2022年9月22日(木) 14:40-15:30,

駒澤大学駒沢キャンパス3-205, 発表者1名

修士論文構想発表会

2022年12月8日(木) 16:30-18:00,

駒澤大学駒沢キャンパス3-205, 発表者3名

修士論文・博士学位請求論文公開発表会

2023年1月21日(土) 13:00-14:40,

駒澤大学駒沢キャンパス3-206,

修士論文発表

高村 楓: 世界文化遺産ベトナム・フエの遺跡群—歴史的背景および立地環境を踏まえたチャンハ岩群の再評価—

博士学位請求論文発表

中村洋介: 地理教育を通じた自然と人間の関係へのシステムアプローチ

* 学位取得

中村洋介: 「地理教育を通じた自然と人間の関係へのシステムアプローチ」を提出し, 2023年3月16日駒澤大学より博士(地理学)の学位を授与される.

* 「駒澤大学大学院地理学研究」第50号

(2022年3月31日発行)

橋詰直道: 「地理学研究」第50号に寄せて. 1-2.

松岡 農: 災害危険区域における震災伝承活動—仙台市若林区荒浜地区を事例に一. 3-22.
令和3年度 修士論文要旨. 23-24.

「駒澤大学大学院地理学研究」論文目録 (第31号~第50号). 25-28.

* 第38回紫竹学林会 (大学院地理学専攻OB会) 最終講義・総会

2023年1月21日(土) 15:00-17:50

最終講義 15:00-17:30, 駒澤大学駒沢キャンパス3-207

橋詰直道先生: 都市緑地と郊外住宅地の研究を

振り返る

総会 17:30-17:50, 駒澤大学駒沢キャンパス3-207

なお懇親会は、新型コロナウイルス感染症蔓延中のため開催せず